

②滋賀県要介護度改善推進モデル事業について

1 事業の目的

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が続けることができるよう、介護サービス事業所における要介護度の維持・改善に向けた取組の推進を図るため、モデルとなる取組を募集し支援することで、要介護度の維持・改善に効果的な取組を、広く普及することを目的とする。

2 対象事業

介護サービス事業所における要介護度の維持・改善に向けて取り組まれる実証的な事業であって、県内でのモデルとなるような事業を対象とする。

[募集にあたって示した取組例]

- ① リハビリテーション専門職の意見を踏まえて介護計画を作成し、在宅（施設）生活の中で生活リハビリに取り組み、生活機能の向上を目指す取組。
- ② 在宅（施設）での生活状況や家族の状況を把握し、従来の心身機能訓練のみではなく、生活行為力を向上させる訓練まで、総合的に行う取組。
- ③ 理学療法士（歯科医師）等の専門職によるアドバイス、職場内研修により、要介護度の改善に効果的な機能訓練（口腔ケア等）方法を習得実践・実証する取組。
- ④ 福祉用具の適正利用による要介護度改善の取組について、実践・実証する取組。

3 対象とする事業所

県内の事業所のうち、平成 26 年度における平均利用実人員数が 10 人以上の事業所

4 補助の内容

要介護度改善推進事業として採択を受けた場合は、事業の実施に要する経費について、別に定める「要介護度改善推進モデル事業費補助金交付要綱」に基づき補助金の交付を受けることができる。

(1) 対象経費

対象項目	対象科目
○アドバイス等のための専門職の招聘に要する経費 ○職員の研修に要する経費 ○利用者の状態の把握、データの整理、分析等に要する経費 ○要介護度の改善の取組を行う環境整備に要する経費 ○事業結果の集約、報告書の作成等に要する経費 ○その他、知事が必要と認める経費	報酬、賃金、共済費、報償費、旅費、需用費（消耗品費、印刷製本費）、役務費（通信運搬費）、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費

(2) 補助率

成 果 指 標	補助率	補助限度額
成果指標※が前年同期を上回った場合	3/3	600千円
上記以外の場合	2/3	400千円

※成果指標は、次の算定式による指数とします。

(算定式) $\frac{\text{要介護度の維持者数 (A)} + \text{改善者数 (B)} \times 2}{\text{更新・変更認定を受けた要介護者の数 (C)}}$

更新・変更認定を受けた要介護者の数 (C)

A : Cのうち、要介護状態区分に変更がなかった人数

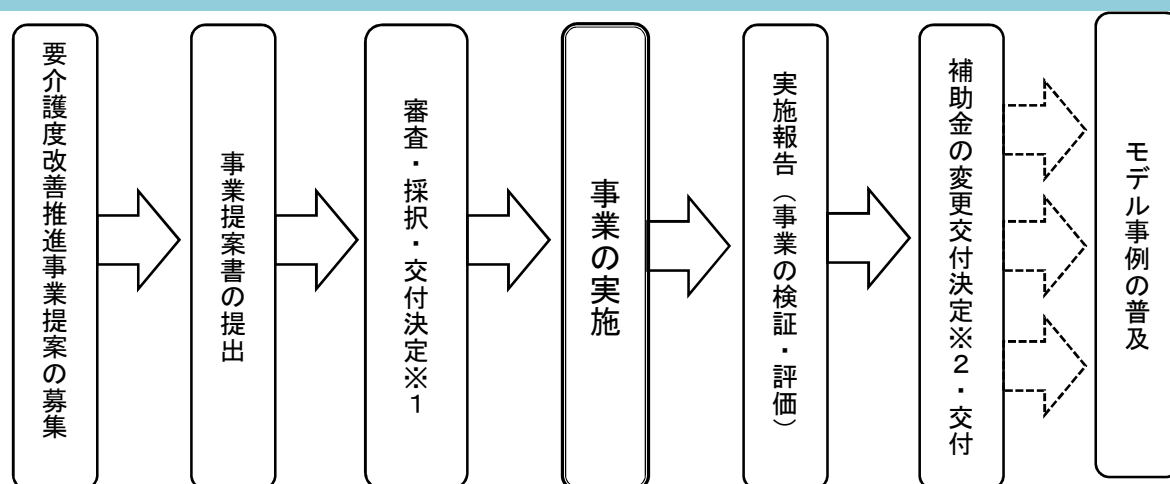
B : Cのうち、要介護状態区分が1ランク以上改善した人数

C : 対象事業実施期間内に更新・変更認定を受けた者の数

(3) 対象事業の実施期間

平成27年7月上旬から平成27年12月31日まで。

5 事業の流れ



※1 事業採択後、交付申請に基づき交付決定する。その際の補助率は2/3とする。

※2 事業実施後、成果指標が前年度を上回った場合は、変更交付申請により、補助率を3/3に変更する。

6. 応募および採択の状況

事業種別	応募	採択
通所介護	40	17
通所リハビリテーション	6	4
認知症対応型通所介護	4	1
認知症対応型共同生活介護	5	1
居宅介護支援	3	1
訪問介護	2	0
訪問リハビリテーション	3	2
訪問入浴介護	1	0
訪問看護	3	1
福祉用具貸与	1	0
特別養護老人ホーム	1	1
小規模多機能型居宅介護	1	1
特定施設入居者生活介護	1	1
合計	71	30

7. 取組成果等

(1) 事業で設定した成果指標の状況

成果指標が、前年同期を上回った事業所	25事業所
成果指標が、前年同期を下回った事業所	5事業所

(2) 成果発表

行事名：平成27年度 介護予防研修会
～「活動」と「参加」に焦点を当てたサービス提供について～
日 時：平成28年3月11日（金）
場 所：栗東さくら 中ホール
参加者：185人
内 容：①講演「これからの地域におけるリハビリテーション」
講師 村井 千賀さん（厚生労働省 老健局老人保健課 課長補佐）

②事例報告
滋賀県要介護度改善推進モデル事業に取り組んだ3事業所から事例報告

(3) 事例公表

滋賀県要介護度改善推進モデル事業に取り組んだ30事業所の取組内容を県ホームページで公表（現在公表準備中）